

女性・男性特有の健康課題に関する効果検証アンケート

まずはあなたご自身について教えてください。

あてはまるものに、それぞれ 1 つずつ○をつけてください。

Q1. 性別	女性 男性 回答しない
Q2. 年齢	10代 20代 30代 40代 50代 60代以上
Q3. 雇用形態	正社員 契約社員 嘱託社員 派遣社員 パート・アルバイト その他()
Q4. 役職	一般社員 中間管理職(主任・係長級) 管理職(課長級以上) 経営者・役員 該当なし

ここからは、「女性・男性特有の健康課題」に関して、お尋ねします

各項目で該当する番号に、それぞれ 1 つずつ○をつけてください。

Q1. 以下の症状・不調に対する、現在の理解度を教えてください。

症状・不調名	選択肢			
	理解している 十分に	どちらかといえば 理解している	理解していない あまり	理解していません まったく
月経関連の症状(月経不順・月経痛等)	1	2	3	4
PMS(月経前症候群)※	1	2	3	4
女性の更年期障害(のぼせ、ほてり、多汗等)	1	2	3	4
子宮内膜症や良性腫瘍(卵巣のう腫、子宮筋腫等)	1	2	3	4
不妊治療	1	2	3	4
妊娠・出産に関する症状(つわり・流産・早産・死産・産後うつ等)	1	2	3	4
婦人科系がん(子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、乳がん等)	1	2	3	4
男性の更年期障害(関節・筋肉痛、ほてりや発汗、疲労感等)	1	2	3	4
泌尿器系の疾患(前立腺がん、前立腺肥大症、前立腺炎等)	1	2	3	4

※「PMS(Premenstrual Syndrome)」とは、日本語で「月経前症候群」と呼ばれている。生理が始まる前の3日～10日前に起こる、心と身体のさまざまな不調のこと。症状は、イライラする、怒りっぽくなる、うつ状態、腹痛、腰痛、頭痛、など様々な症状があらわれる。生理が始まると自然に消えたり、軽くなるのが特徴。

Q2. Q1で挙げた「女性・男性特有の健康課題」が、仕事のパフォーマンス低下やキャリアアップ等に影響を与えることについて、現在の理解度を教えてください。

十分に理解している	どちらかといえば理解している	あまり理解していない	まったく理解していない
1	2	3	4

Q3. 現在、以下の症状や不調で悩んだり、仕事に支障を感じたりすることがありますか。

症状・不調名	選択肢	感じる	ときどき感じる	感じない	わからない	該当しない
月経関連の症状(月経不順・月経痛等)		1	2	3	4	5
PMS(月経前症候群)※		1	2	3	4	5
女性の更年期障害(のぼせ、ほてり、多汗等)		1	2	3	4	5
子宮内膜症や良性腫瘍(卵巣のう腫、子宮筋腫等)		1	2	3	4	5
不妊治療		1	2	3	4	5
妊娠・出産に関する症状(つわり・流産・早産・死産・産後うつ等)		1	2	3	4	5
婦人科系がん(子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、乳がん等)		1	2	3	4	5
男性の更年期障害(関節・筋肉痛、ほてりや発汗、疲労感等)		1	2	3	4	5
泌尿器系の疾患(前立腺がん、前立腺肥大症、前立腺炎等)		1	2	3	4	5

★次の質問は、Q3で「感じる」「ときどき感じる」に○をつけた症状のみお答えください。

Q4. 症状や不調がないときの仕事の出来を【100%】としたとして、症状や不調がある時の直近3カ月程度のご自身の仕事の出来を評価してください。

月経関連の症状(月経不順・月経痛等)	()%
PMS(月経前症候群)※	()%
女性の更年期障害(のぼせ、ほてり、多汗等)	()%
子宮内膜症や良性腫瘍(卵巣のう腫、子宮筋腫等)	()%
不妊治療	()%
妊娠・出産に関する症状(つわり・流産・早産・死産・産後うつ等)	()%
婦人科系がん(子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、乳がん等)	()%
男性の更年期障害(関節・筋肉痛、ほてりや発汗、疲労感等)	()%
泌尿器系の疾患(前立腺がん、前立腺肥大症、前立腺炎等)	()%

※「PMS(Premenstrual Syndrome)」とは、日本語で「月経前症候群」と呼ばれている。生理が始まる前の3日～10日前に起こる、心と身体のさまざまな不調のこと。症状は、イライラする、怒りっぽくなる、うつ状態、腹痛、腰痛、頭痛、など様々な症状があらわれる。生理が始まると自然に消えたり、軽くなるのが特徴。

★次の質問は、Q3で「感じる」「ときどき感じる」に○をつけた症状がある場合のみ、お答えください。

Q5. ()の間に、症状や不調で悩んでいることを職場で相談したり、制度を利用したことはありますか。

はい	いいえ
1	2

★次の質問は、Q5で「いいえ」に○をつけた場合のみお答えください。

Q6. 今後、症状や不調で悩んでいることを職場で相談したり、制度を利用してみようと思えますか。

そう思う	どちらかという そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1	2	3	4

Q7. ()と比較して、症状や不調に関する不安などは改善されましたか。

そう思う	どちらかという そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1	2	3	4

Q8. ()と比較して、健康維持・増進や、症状や不調への対応のためのケアや対策への取り組みに、何らかの変化はありますか。

意識的に 取り組むようになった	1	⇒「1」「2」に○をつけた人へ 取り組んでいる内容
やや意識的に 取り組むようになった	2	
あまり意識的には 取り組んでいない	3	
まったく取り組んでいない	4	

Q9. あなたの職場や仕事に対する、現在の気持ちを 5 段階で評価してください。

選択肢	非常に そう 思う	やや そう 思う	どちらとも いえ ない	あまり そう 思 わ な い	ま っ た く そ う 思 わ な い
健康課題等との両立を支援してくれる職場だと思う	1	2	3	4	5
仕事に対するやりがいを感じる	1	2	3	4	5
職場に貢献したいと思う	1	2	3	4	5
今の会社ですっと働き続けたい	1	2	3	4	5

Q10. 症状や不調を感じる場合、勤務先で必要と感じる、あればいいなと思う支援は、どのようなものですか。

治療や通院、健診のための休暇制度や柔軟な勤務制度	1
長時間労働の是正に向けた取組み	2
有給休暇など現状ある制度を取りやすい環境づくり	3
上司や同僚の理解を深めるための啓発や研修	4
予防や健康意識増進のための健康教育	5
総務・人事等管理部門に相談しやすい仕組み(窓口設置等)	6
上司や社内からのサポート体制づくり(面談機会の提供等)	7
外部の専門家に相談できる体制	8
通院や治療の費用を助成・負担する制度	9
その他(具体的に) ()	10
あてはまるものはない	11

Q11. ()の間に、ご自身のなかで感じている変化があれば、教えてください。

例:社内で健康課題を抱える人がいるのだと想像できるようになった。

自分の不調は自分だけの問題ではなく、職場や組織の問題だと気づいた。等

()

★次の質問は、部下をもつ方のみお答えください。

Q12. ()と比較して、部下の不調に対する意識に変化はありましたか。

気にかけるようになった	1
やや気にかけるようになった	2
変わらない	3
その他	4

(⇒詳細)

設問は以上です。